

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-3-3		事業名	交通ICカードの導入と活用
担当	総務局情報化推進部IT推進課調整担当 丹野 TEL 211-2184			
全 体 計 画				
事業内容	公共交通利用を基盤としたICカードシステムを導入する。 平成20年度内を目途に地下鉄でICカードを先行的に導入するため、具体的な検討を進めているところであるが、以後、順次、民間バス事業者との共通化を推進するとともに、ICカードを利用した少額決済(電子マネー)やクレジット決済との連携のほか、地元事業者と連携した新たなサービスや行政サービスへの活用を可能とするような枠組みも整備する。 こうした取り組みを通じて、公共交通機関の利便性・快適性を高めるとともに、公共交通の利用促進と地域経済の活性化の相互作用を生み、魅力ある都市づくりを目指す。		＜年度別の事業内容＞	
			H21年度 ICカードの多目的利用に関する調査	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	交通局・民間バス事業者・札幌市による「札幌ICカード協議会」(以下「協議会」と言う。)を設立し、カード名称・サービス内容等を決定した。		引き続き協議会において情報交換を行うとともに、今後のサービス拡大に向けた情報収集を行った。	
規模・件数等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き協議会において情報交換を行うとともに、今後のサービス拡大に向けた協議を行った。 ・ICカードの多目的利用に関する調査研究を行った。 ・ICカード多目的利用の一環として、民間企業(北洋銀行)の協力を受け、電子マネー事業のサービス基盤整備に共同で取り組むことで合意した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・協議会において、平成25年度第一四半期を目標としてバス・路面電車にICカードを導入することで合意した。また、交通事業者における導入経費に対して、札幌市として補助を行う方針を決定した。 ・ICカードの多目的利用について、北洋銀行の協力により電子マネーサービスを開始した。また、平成23年度からの行政利用の実現に向けて、関係部局との協議・調整を進めた。 	

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-3			事業名	交通ICカードの導入と活用		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)	
ICカードの商業、行政利用との連携枠組み検討	-	-	-	検討		検討 (21年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力]ICカード多目的利用検討に当たり、NPO法人や民間企業等から、専門知識を有する人材の協力を受けた。 [情報協力](該当なし) [その他の協力]ICカードSAPICAの電子マネー事業サービス基盤の整備にあたり、(株)北洋銀行の協力を得た。(平成22年3月基本合意)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)				課題			
<p>計画に掲げた「ICカードの多目的利用に関する調査」については、21年度に調査を終え、一旦の目標を達成した。 しかし、本事業の最終的な到達目標は、ICカードの多目的利用の実現によりカードが広く市民に普及することであり、その点では、目標達成に向け、今後も引き続き取り組みが必要である。</p>				<p>市民へのICカードの普及に向け、バス・路面電車への導入の確実な実施、電子マネーや行政利用などの多目的なサービスの拡大について、引き続き取り組んでいく必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>市民へのICカードの普及のため、カードの利便性の拡大に引き続き取り組む。 具体的には、平成25年度のバス・路面電車への導入に向けて交通事業者への補助金の交付を行うほか、行政分野での利用について、現在協議・調整中の部局での平成23年度中の確実な導入と、さらなる利用範囲の拡大の検討を行う。 また、電子マネー事業などの商業分野での利用については、民間主体で取組を進めることになるが、札幌市としても地元事業者への働きかけなどで、連携・協力を行う。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-3-3			事業名	交通ICカードの導入と活用					
事業費の推移											
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計	
計画	事業費	0		0		5,000		0		5,000	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の	0		0		0		0		0
		一般財源	0		0		5,000		0		5,000
予算	事業費	0		0		5,000		0		5,000	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の	0		0		0		0		0
		一般財源	0		0		5,000		0		5,000
実績	事業費	0		0		3,087		0		3,087	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の	0		0		0		0		0
		一般財源	0		0		3,087		0		3,087
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)								61.7%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
《全体》											
[19年度]											
[20年度]											
[21年度]発注時に、業務委託内容・経費積算を精査したことにより生じた差異											
[22年度]											